

● 活動目的

岡山医療センターにおける患者の病態変化に対して早期に認識・介入し、重篤有害事象を軽減することを目的とする。

● 活動状況

1. RRS における活動

- 1) 年 5 回の RRS チームカンファレンスの実施
- 2) 年 2 回の院内向け RRS 研修会の実施
- 3) 職員への RRS の周知: RRS コール・RRS 起動基準・呼吸回数測定を促す掲示
- 4) RRS の認知度の確認、RRS の普及を目的としたアンケートの実施
- 5) FCCS (集中治療医療安全協議会) セミナー受講促進

2. RRS 起動状況 (2024.4.1~2025.3.31)

RRS 起動は 1 年間で全 25 件。

全例で症状軽快または、今後の治療方針を確認できた。

RRS が多く起動されている他施設に比較すると、起動件数は少ないと考えられる。

3. CAC 起動状況調査 (2023.4.1~2024.3.31)

2024 年度 CAC 発令: 26 件 (うち 19 件が心停止)。時間外の CAC 症例が 17/26 例。

心停止 19 症例のうち ROSC: 12 件 (ROSC 率 63.1%)、最終的な回復: 4 件 (救命率 21.0%)。

うち、CAC 前に状態変化があった事例が 12/19 例 (63.1%)、状態変化があった事例の中でモニターが装着されていなかった事例が 1/19 (5.3%)。

4. RRS 起動推進のための方策検討

年 2 回の RRS 研修会の企画実施による周知活動の検討

呼吸回数の測定を促すためのポスター作製

FCCS セミナーなど RRS 規定セミナー受講の促し

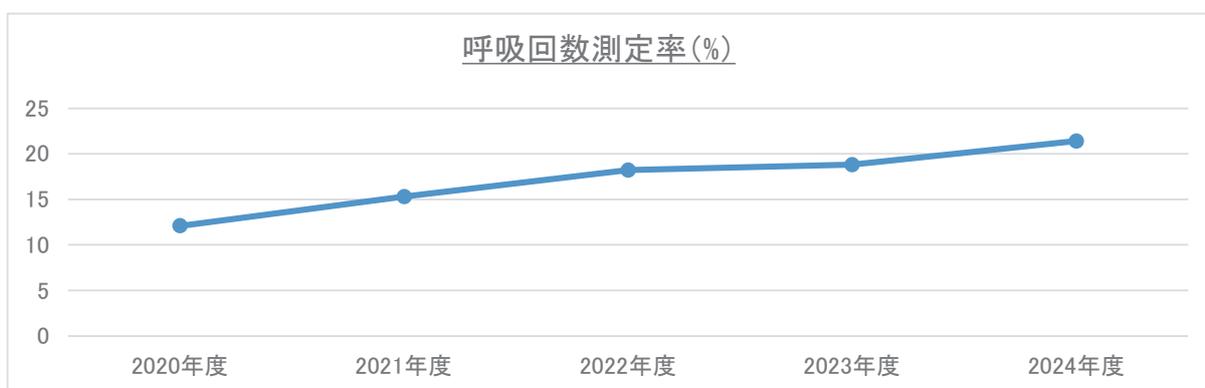
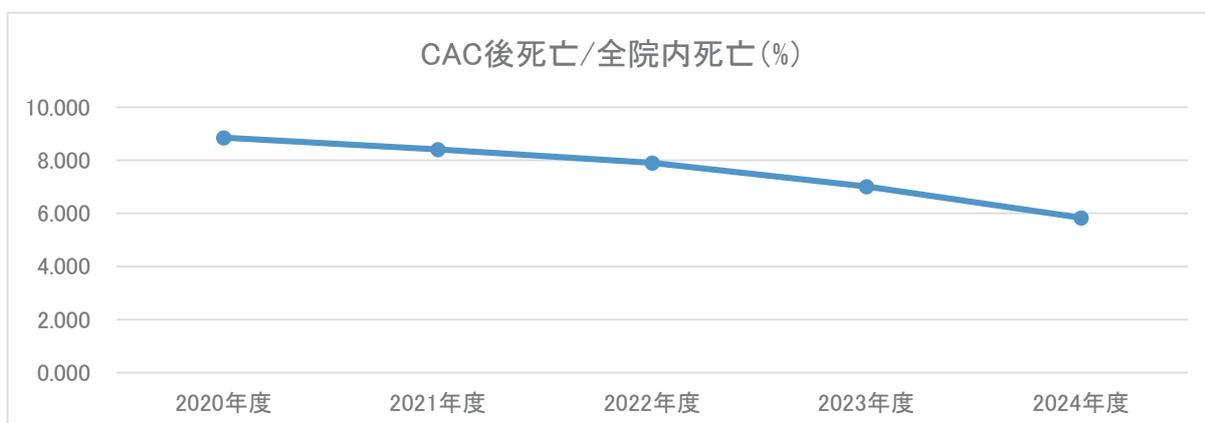
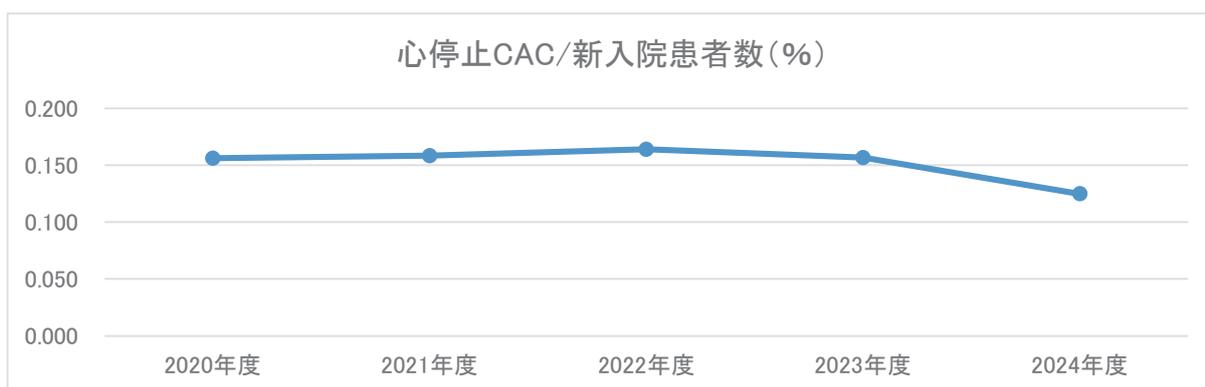
5. 総括

資料のごとく、RRS 件数の増加とともに

- ① 新入院患者に対する心停止 CAC の割合
- ② 全院内死亡に対する CAC 後死亡 (≡ 予期せぬ心停止) の割合

については低下が見られており、RRS の普及による効果が確認できた。

<各種データ>



※呼吸回数測定率(%)

= 無作為に選択した1週間における(呼吸回数を1回でも測定した患者/総入院患者) × 100 で算出